

みなかみ議会だより

●写真/雪遊び
(にいほるこども園)



12月定例議会

平成22年度補正予算 一般会計・特別会計 — 3

町政を問う 一般質問4人 — 6

10月/11月臨時議会 — 5

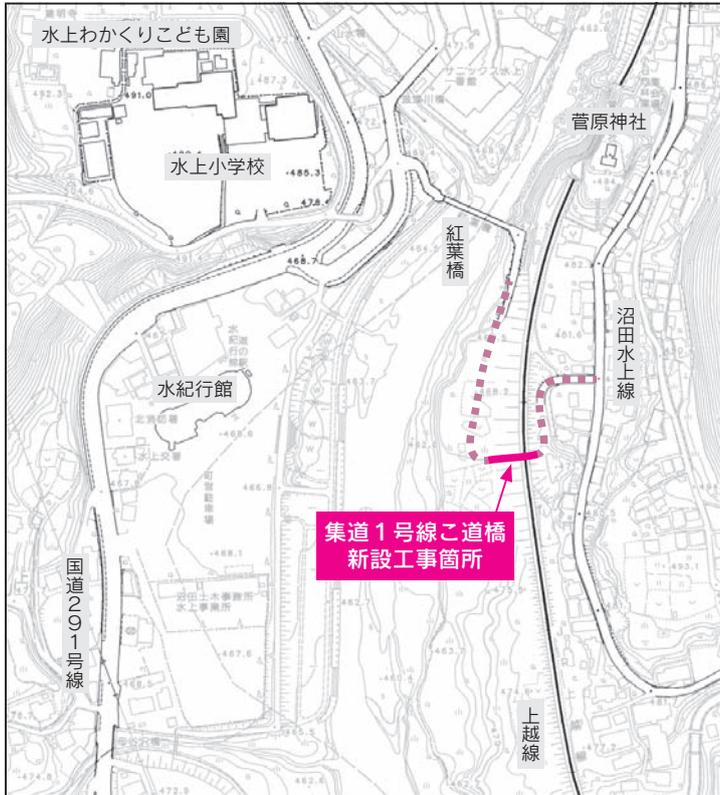
1月臨時議会 — 13

22号

平成23年(2011年)
2月1日発行

12月 定例議会

8日から16日の9日間の会期で開催されました。
 発議1件、22年度補正予算7件、条例改正4件、その他17件が提出され、審議の結果、すべての議案を原案通り可決しました。
 4人の議員が、『保健福祉』『教育環境』『産業活性化』『歴史遺産』等について、一般質問しました。



こ道橋の整備予定位置

水上地区にこ道橋の新設

16施設において期間延長の指定

延長した一年間に、指定管理のありかたや指定管理施設の再検討をしていきます。

- 町企業立地の促進等による地域活性化に関する条例の一部改正
 - 町立学校設置条例の一部改正
 - 町学校給食センター条例の一部改正
 - 町スクールバスの設置に関する改正
 - 条例の一部改正
 - 水上中央地区集道1号線整備に伴う上越線上牧・水上関(下り線)こ道橋新設工事の施行協定締結
 - 指定管理者の指定
- (全会一致可決)

指定管理者一覧

(12月指定分/指定期間はすべてH23.4.1~H24.3.31の1年間)

施設名	指定管理者名 (全て継続)
通所介護事業所 デイサービスセンターほたるの苑	社会福祉協議会
通所介護事業所 水上デイサービスセンター	社会福祉協議会
通所介護事業所 新治ふれあいセンター	社会福祉協議会
みなかみ町福祉センター	社会福祉協議会
公衆浴場いこいの湯	猿ヶ京区
みなかみ町水紀行館	㈱水の故郷
大峰休養施設見晴荘	ダイヤモンドワールド
産地形成促進施設 月夜野は一べすと	月夜野は一べすと農産物直売所利用組合
たくみの里ヨーグルト工房	助新治農村公園公社
特用林産物加工場	みなかみ町商工会
月夜野農村環境改善センター	みなかみ町商工会
武尊青少年旅行村	武尊山観光開発㈱
みなかみ町駐車場 (大穴)	大穴区
新治屋内運動場 湯宿温泉屋内運動場	みなかみ町ゲートボール協会新治地区
永井宿郷土館	永井区
新治屋内運動場 猿ヶ京温泉屋内運動場	猿ヶ京温泉民宿組合

長年の懸案事項であった、小日向・湯原両地区における集落道路の危険箇所が解消されます。

22年度補正予算 (12月補正)

項目	補正額	主な内容	総額		
一般会計	2,519万円	環境力推進事業費(小水力発電施設設置工事費用など)/240万円 県議会議員選挙事務/352万円 子育て支援費(空気清浄機購入費など)/536万円 予防費(各種予防接種委託料など)/662万円 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費 (真沢地区ほ場整備工事など)/2,000万円 農業振興総務費(経営体育成交付金)/720万円 下水道事業特別会計繰出金/▲2,105万円 消防施設費(詰所改築工事など)/660万円 職員人件費(一般職)/▲2,829万円	132億1,182万円		
特別会計	国民健康保険	療養諸費(一般被保険者療養給付費など)/3,314万円 保険給付費(一般被保険者高額療養費)/1,223万円 介護納付金/501万円 予備費/2,000万円	30億8,154万円		
	後期高齢者医療	保険料還付金/56万円	2億2,119万円		
	介護保険	介護サービス等諸費(介護給付費)/1,000万円 介護予防サービス等諸費(介護予防給付費)/1,130万円 高額医療合算介護サービス等費/220万円	18億7,263万円		
	簡易水道	施設事業費(猿ヶ京簡水統合工事費など)/655万円	2億6,148万円		
	下水道	職員人件費/▲2,124万円 公共下水道維持管理費/240万円 特環下水道建設事業費(新治)/▲100万円	10億4,516万円		
水道事業	収益的	収入	242万円	加入金/242万円	2億7,771万円
		支出	▲90万円	借入金利息/▲120万円	2億3,134万円
	資本的	収入	0万円	国庫補助金/1,250万円 企業債/▲1,250万円	9,205万円
		支出	150万円	工事請負費/150万円	1億8,253万円

補正予算

◇後期高齢者医療特別会計
(賛成十五 反対一 可決)

— 討 論 —

反対

原澤良輝議員

後期高齢者医療制度は国民の反対が多く、すでに平成二十四年で廃止が決まっていますが、直ちに廃止すべきと考えます。

◇一般会計

◇国民健康保険特別会計

◇介護保険特別会計

◇簡易水道事業特別会計

◇下水道事業特別会計

◇水道事業会計

(全会一致可決)

発 議

●TPP交渉参加に反対する意見の提出

(全会一致可決)

意見書を提出

TPP交渉参加に反対する意見書

平成二十二年十二月十六日、地方自治法第九十九条の規定により、議長名にて提出しました。

我が国はWTOドーハ・ラウンド交渉において、世界の国々において多様な農業が存在しうる貿易ルールの確立を国の方針として主張してきました。

しかしながら、菅首相は、十月一日突如として米国、豪州など九カ国が行うTPP(環太平洋経済連携協定)への参加について言及しました。

去る十一月九日には、「包括的経済連携に関する基本方針」を政府は閣議決定しました。この中でTPPについて交渉の参加・不参加を先送りしたものの「関係国との協力を開始する」と決定しました。

TPPは、関税撤廃の例外措置を認めない完全な貿易自由化を目指した交渉です。TPPへの参加は日本の農業・農村を崩壊させる恐れがあり、断じて認められません。

我々は、工業製品の輸出拡大や資源の安定確保を否定するものではありません。しかし、この国が貿易立国として発展してきた結果、我が国は世界で最も開かれた農産物純輸入国となり、食料自給率は四〇%と著しく低下しました。さらに例外を認めないTPPを締結すれば、農畜産物輸入が激増し日本農業は壊滅します。

さらに関連産業は壊滅し、地方経済・雇用、農業が守ってきた多面的機能も失われます。これでは、国民・県民の圧倒的多数が望む食料自給率の向上、安全・安心な暮らしの実現は到底不可能です。

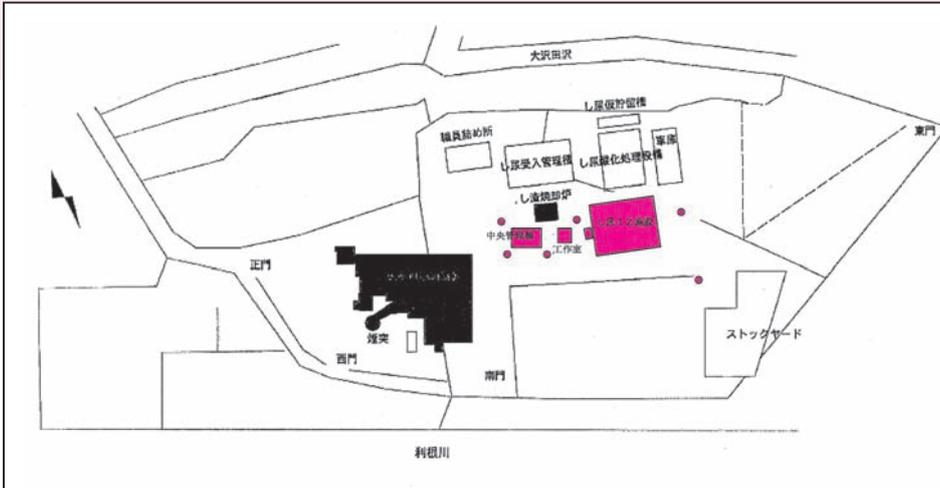
農山漁村は、現在、疲弊の度を極め、我々は、農林水産業などの地域産業の振興に日夜全力を傾けており、食料自給率の向上、農業の多面的機能の発揮、世界の食料問題の解決と両立できないTPP交渉への参加に反対であり、断じて認めることはできません。

つきましては、この趣旨を十分ご理解いただき、政府においては適切な対応をとるよう強く要望いたします。

内閣総理大臣 菅 直人 様
農林水産大臣 鹿野道彦 様
外務大臣 前原誠司 様

現地調査 H22.12/13

9月定例会で補正予算が可決された、旧衛生センターの現地調査を実施しました。



今回解体が行われたところ
(■の部分)

懸案事項であった旧衛生センター跡地の建物が一部解体されました。今後も順次整備が進められていきます。



雨の中の視察となった



解体が実施された箇所の様子



除雪作業の様子(水上地区)

除雪センターが稼働しました。

一月上旬中旬にかけて大雪になり、町民の交通確保のため、フル稼働しています。

10月臨時議会

平成22年10月26日

22年度補正予算／一般会計（10月補正）

補正額	主 な 内 容	総 額
2,057万円	国際交流費(国際交流事業委託料)／154万円 里山整備事業(木材破砕機借上料)／105万円 農村公園施設費(遊神館温水循環ポンプ修繕)／201万円 農業用水路維持管理費(工事関係原材料費)／330万円 アドベンチャースポーツ安全向上事業(調査研究事業実行委員会補助金)／359万円 除雪費(除雪支援備品購入費)／300万円 町営住宅管理費(退去修繕費)／540万円	131億8,663万円



(上) 町直営の施設となった遊神館
(下) 温水循環ポンプが修繕された

専決処分報告

● 一般会計補正予算
(賛成十五 反対二 承認)

— 討 論 —

反対 原澤良輝議員

指定管理者を月夜野振興公社にしてから一年半で投げ出されてしまうと、いうのは、事業計画に無理があったのではないかと考えます。また、町に相談なく購入した備品まで町が負担するのはどうかと思います。

議 案

● 管内小中学校情報通信機器購入契約の締結
(全会一致可決)

● 一般会計補正予算
(全会一致可決)

11月臨時議会

平成22年11月26日



ニュージーランドでの研修風景（2点とも）

議 案

● 議員派遣の件について
(全会一致可決)

アウトドアレジャーに関する研究調査のため、ニュージーランドへ議員二名を派遣しました。
アウトドアの安全基準に関する条例の早期制定を目指しています。

— 討 論 —

反対 原澤良輝議員

日本経済の深刻な景気悪化は、内需が停滞しているためだと言われています。

職員給与を削減することは、民間労働者の給与等を今以上引き下げることになり、経済にマイナスの影響を与えます。
※二名が欠席でした。

● 町職員の給与等を削減する条例の一部改正
(賛成十四 反対一 可決)

4人が質問を行いました。

主な内容

- **阿部 賢一** ①中学生海外派遣の復活を
②建ぺい率の見直しをする考えは
- **島崎 栄一** ①敬老バスカードの補助率を上げては
②高校生用の割引カードの新設を
③福祉タクシーの運行を
- **原澤 良輝** ①町史跡の保存と活用の促進を
②幼稚園の保育料を無料にしては
③ヒブワクチンに公費助成を
- **前田 善成** ①これからの幼児教育の方向性は
②農村を活用した人口増加や産業化政策を



阿部
賢一
議員



中学生の海外派遣事業 復活はあるか

町長 ぜひ再開したい

問 将来を担う町内中学生の海外派遣事業を復活する考えはありますか。

答

教育長

合併前は

月夜野町や新治村

で実施していました。

昨年、合併後はじめて

オーストラリアへ中学生

を派遣する予定でしたが

新型インフルエンザの大流行で中止となりました。



中学生は何でも吸収できる年頃であり、英語圏での国際感覚や異文化等を体験すること、外から日本を見直すことは、極めて有意義なことです。ぜひ派遣事業が復活できればと考えています。

答 **町長** 教育委員会と十分調整しながらぜひ再開したいと思っています。

中学生だけでなく、中

高生や幅広い層の町民で

構成する交流団を組織し、

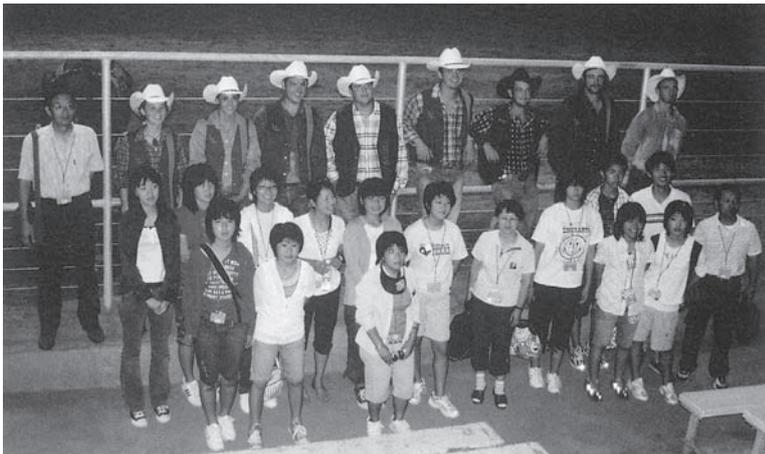
異文化に接する機会を提

供したいと考えています。

※一月臨時議会で補正予

算を提出、可決されました。

(関連記事13P)



海外の暮らしに触れる機会は貴重な経験
(旧新治村の派遣事業/アメリカ・テキサス州ハンツヴィル市)

■都市計画と建ぺい率*の規定
時代に合わせ見直しては

問 四〇〜五〇%と厳しく、増築の弊害

になっていきます。

一朝一夕で出来ること

ではありませんが、計画

を尊重しつつも、時代に

合った数値に見直す考え

はありませんか。

答

町長

都市計画法では五年に一度、

定期見直しを行うことになっていきます。

その際に地域の人々の

意見を聞く中でまちづく

りに活かしたいと考えて

います。

答 **町長** 約三十年前

の先人達が理想的なまちづくりを計画し、

現在着々と実現に向け進

行しています。より一層

大切にする事と考えてい

ます。

※建ぺい率(けんぺいりつ)

住宅の規模(広さ)に対する規

制を示す基準のひとつで、敷地面

積に対する「建築面積」の割合の

こと。用途地域と都市計画の指定

によって上限が定められている。

島崎 栄一 議員



高齢者の足となる 福祉タクシーをつくっては

町長 総合的施策の一部として可能かも



お年寄りの交通確保は緊急課題
(病院への送迎) 介助：社会福祉協議会



問 町は広く、バスの通らない地域もたくさんあります。

高齢者のために、バスとタクシーの中間くらいの料金で利用できる福祉タクシーを運行すれば住みやすくなると思いますか。

答 町長 高齢者の移動手段をどう確保するかは、今後の重要課題です。

福祉タクシーは、お年寄りの移動手段を確保する総合的な施策の一部として活用できる可能性があります。あろうかと考えています。

■敬老バスカード
補助率を上げるべき

問 町の補助を復活させ、町を支え発展させてきた高齢者の人たちが、二千元で敬老バスカードを利用できるようにして下さい。

答 町長 利用者減少により、バスの利用促進が敬老バスカードだけでは図れなくなっています。また県も割引率が高いということで事業を廃止しています。敬老バスカードの利用者が一・五六%と極めて少なく、バス路線の維持のためには施策的に合わないと考えています。

■バスの割引カード
高校生向けにつくっては

問 高校生用のバスカードを作り、二千元で販売すれば、保護者が送迎できないときや悪天候の日などに利用されると思いますが、新設する考えはありますか。

答 町長 「公共交通機関の確保」が目的なのか「子育て支援」が目的なのか明確ではありません。町内高校生の約六分の一しか利用することができないことが想定されまので、適切な手段ではないと思っています。

原澤
良輝
議員



町内史跡の活用促進を

教育長 テコ入れ検討、戦跡※は安全面等で難



問 三千年前の縄文人の世界が眠る矢瀬遺跡や資料館、太平洋戦争末期に造られた地下壕などの戦争遺跡を整備し、活用促進することで町の活性化につながると考えますが。

答 **教育長** 郷土歴史資料館の来場者は年々減少しています。今後、展示場所や出土品の入替え等で観光的活用も考えながら検討していきたい。

地下壕は歴史資料としての重要性は認識していますが、私有地であることや安全対策等に多額の経費が想定され、現状では一般公開することは難しいと考えます。

※戦争遺跡
後閑駅の裏手に、旧中島飛行機の地下工場跡が現存している。



縄文時代史跡をはじめとした貴重な地元史料（郷土歴史資料館）

■就園奨学金の公私格差
公立園無料化による公平化が必要

問 町は二十二年度から町立月額額五千元、私立月額額一万五二〇〇円に、幼稚園の保育料を軽減しました。

答 **町長** 保育料等の軽減を求める声が非常に大きいことは認識しています。

生活保護世帯や非課税世帯等に就園奨励金が助成されますが、町立と私立で助成額に差が出てきます。保育料を無料にして、公正を図る必要があります。保育料のさらなる軽減は、子育て支援に有効なので引き続き検討していきたい。

■ヒブ感染症（細菌性髄膜炎）
ワクチン接種費用の公費助成を

問 ワクチンで予防できる病気に感染して、命を落とす子どももいます。

答 **町長** 町は子宮頸がんの助成をすでに実施しました。ヒブワクチンも死亡率の高さや後遺症を考慮し、関係機関と連携して、早急に助成していきたいと考えています。

国もワクチン接種緊急交付金を予算化しました。町も助成を実施する時期だと思います。

※一月臨時議会で補正予算を提出、可決されました。（関連記事13P）

前田 善成 議員



幼保教育の不安や問題点 取り組みの方向は

町長 期限や財政に縛られないよう

問 老朽化による施設整備や子ども園等の教育現場の課題に対し、幼児教育のこれからの方向性について町の考えは。

答 町長 少子化が進む町において、幼児教育の環境整備は重要な問題と考えています。国の制度や特例期間を有効に活用しながら、地元や町民の合意を得て、施設整備、職員配置、幼稚園と保育園の組み立て等を検討していきたいと思っています。

が、幼児教育の課題・解決も含め、諸方策をとりながら、今後も子ども園の方向で進んでいきたい。

問 財政ありきの検討でなく、ソフト面を積み上げ、心を重視する施設の整備をどう検討しますか。

答 町長 教育施設等検討特別委員会の報告のとおり、将来的に民営化という方向性は認識しています。開園して二年目となる子ども園の運営状況を検討材料にしながら、期限や財政にしばられない良質な教育環境を整備していきたいと考えています。

■産業と結びついた教育
アジア諸国や農業体験等と絡め

問 空き家を活用して、I・Uターンの若者を農業体験させ、農業の活性化と人口増を図ってはいかがですか。またアジアの中間層を対象に、安心・安全の町の農産物の販路を開拓してはどうでしょうか。

答 町長 農業経営には、農地の取得や農業委員会の許可など様々な規制があり、また地元理解と協力が必要不可欠だと思います。

問 教育を産業と捉え、子供たちが町に帰郷して産業を興こし、人口増加につなげるようなシステムをつくる考えはありますか。

答 町長 民間の範囲であり、町として制度を作る考えはありません。



楽しいお遊び (にいはるこども園)

答 教育長 すべての子どもを対象に保育教育を一体的に行い、子育て支援を行う施設としての「こども園」は課題が多いと指摘されます

視察報告

報告：
委員長 森下 直

10/4-5

とうみ
東御市・諏訪市（長野県）

・地域に開かれた福祉施設 ・汚泥の再生システム

◆地域に開かれた福祉施設

ケアポートみまきは、

急速に進む高齢化社会への対応や、子どもから老年寄りまで安心して暮らせるよう、平成七年に開設されました。

運営体制は理事・監事・評議員三五名、職員一五〇名で運営されています。事業費は九億円でうち人件費が六割、積立

金は四億円あります。

一日平均五〇〇人が利用しており、地域の健康、体力づくりに貢献することを目指しています。

みなかみ町の福祉施設は点在しているので、使用者の利便性等の問題をどう解消するかが課題です。

ケアポートみまき



各種運動が行える
多彩な室内プール



浄化設備内部を見学



◆汚泥の再生システム

諏訪湖流域下水道

平成五年に七市町村が供用を開始し、九年から諏訪湖の浄化をするため、廃棄物を資源化する施設を稼働しました。

平成二十年度には、金を含有する汚泥焼却灰を

売却し、約四千万円の収入があったそうです。計画処理人口は十八万九千人、利用者負担がト当たり五十三円で運営されています。

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覽

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果	
請願	4	22. 8.11 (継続審査分) 水上温泉街の活性化対策について	湯原636 湯原区長 鈴木 俊夫 他4人	産業観光	継続審査	
	5	22. 8.30 (継続審査分) 旧月夜野第一中学校跡地に水洗トイレを設置に関する請願について	布施1587 澤浦 由樹 賛同者4人 ほかソフトボール保護者会一同	総務文教	取り下げ (12.9)	
	6	22.11. 8 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願	前橋市桶越町183-4 全日本年金者組合 執行委員長 小崎洋一郎 ほか1人	厚生	不採択	
	7	22.11.18 水上児童館に運動のできる安全な庭を造ることにに関する請願	谷川556 松本ひろ子 ほか賛同者25人	厚生	継続審査	
	8	22.11.22 TPP交渉参加反対に関する請願	沼田市東原新町194 利根沼田農業協同組合 組合長 嶋本 暢一	産業観光	採 択	
	9	22.11.24 TPP参加に反対する請願	沼田市下川田町799 利根沼田農民連 野口 意志雄	産業観光	採 択	
	10	22.11.24 ゴミ袋の値下げと国保税の引き下げを求める請願	相保58 日本共産党みなかみ町委員会 委員長 林 誠行	厚生	不採択	
	陳情	2	22. 8. 4 (継続審査分) 「そば・うどんの里づくり」・「フルーツ・ベジタブル園」の建設について	須川847 (財)新治農村公園公社 理事長 鈴木 和雄	産業観光	一部採択
		3	22.12.16 赤谷川護岸の整備について	布施100-2 布施区長 林 安信 ほか8人	産業観光	採 択

請願討論

●全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める

賛成

原澤良輝議員

多くの国民が老後に不安をいだいており、全国市長会は国に最低保障年金制度の創設を提案しています。高齢者が安心して暮らしていくために本制度の創設は必要です。

●ゴミ袋の値下げと国保税の引き下げを求める

賛成

原澤良輝議員

二十一年度の国保会計は医療費の大幅増加を見込んでいましたが黒字になりました。二十二年度も黒字になるならば、町民に理由を説明し、国保税を引き下げるべきです。

賛成

島崎栄一議員

国保税は黒字になった以上、早急に引き下げるべきです。またゴミ袋は沼田市や前橋市のように実費のみにすべきです。

資料配付

●TPP交渉参加に反対する要望
●上毛高原駅前のSLと水紀行館に展示されているEF16を鹿野沢区内に移設の要望

請願箇所の現地調査の様子



水上児童館園庭の調査（厚生常任委員会）

1月臨時議会

平成23年1月18日



子ども達を伝染病の脅威から守るために

住民生活に直結した 事業が可決！

国の地域活性化交付金の創設により、
各種事業が前倒しで実施されます。

- ワクチン接種費用の補助
- 商工会の買物弱者への支援
- 中学生の海外派遣
- 教育施設の図書充実 など

議案

- 一般会計補正予算
 - 水道事業会計補正予算
 - 町道路線の認定
- (すべて全会一致可決)

22年度補正予算 (1月補正)

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	4億2,920万円	協働のまちづくり費(まちづくり協議会支援交付金など) / 1,380万円 地場産業振興事業(地場産業振興対策事業補助金など) / 1,500万円 老人福祉総務費(デイサービスセンター冷暖房設備修繕) / 1,838万円 地域生活支援費 (地域活動支援センター、養護学校送迎用車両購入費など) / 600万円 子育て支援費(子育て支援センター備品購入費など) / 673万円 予防費(ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用助成など) / 899万円 環境衛生総務費(旧衛生センター解体工事費など) / 1,000万円 商工振興費(商工会買い物弱者対策事業補助金) / 420万円 道路新設改良費(建明寺線道路改良工事費など) / 4,400万円 橋梁維持費(橋梁点検委託料) / 1,250万円 都市計画総務費(SL機関車移転整備工事費) / 2,500万円 後閑駅前駐車場整備事業(駐車場ゲート設置工事費) / 1,000万円 町営住宅管理費(給水対策工事費など) / 2,950万円 教育振興基金(仮)積立金 / 2,500万円 中学生海外派遣事業 / 400万円 小・中学校図書購入費 / 691万円 水上中学校建設事業費 / 9,708万円 幼稚園・保育園教育教材購入費 / 105万円 図書室費(図書購入費など) / 500万円 など	136億4,102万円
特別会計 水道事業	収入 350万円	一般会計補助金 / 350万円	9,555万円
	資本的 支出 350万円	師地内圧力解消工事 / 350万円	1億8,603万円

※色文字は地域活性化交付金を財源とするものです

追跡 あの質問どうなった？



町長より委嘱状の交付を受ける協力員

平成二十二年十二月六日、みなかみ町消防協力員の委嘱状交付式が、中央公民館で行われました。消防協力員の役割や災害時の補償等について確認がされました。

平成二十三年一月二十三日現在の委嘱人数は、九十一名です。これからの活躍が大いに期待されます。

「みなかみ町消防協力員」が誕生しました。



問 O B を活用した消防隊組織としては町外に勤務している団員が約半数と多く、昼間の災害等に出場できない状況にあります。O B などを活用した「機能別消防団員」を組織する考えはありますか。

(平成二十年六月定例会)



スキー研修会 (宝台樹スキー場)

中国 联合国際学院 スキー研修会開催

昨年九月に友好協定を結んでから最初の事業で、歓迎交流会やそば打ち体験とともに開催されました。滞在期間は一月九日～十五日の一週間でした。

議会としても、交流会・研修会に参加しています。



そば打ち体験 (長寿庵、左右とも)



議会の動き

*平成22年11月～平成23年1月

※議会議員および議長が出席した行事

3(水)	町文化祭開会式
4(木)	菊花同好会表彰式 月夜野俳歌壇表彰式
5(金)	県知事との懇談会 水上スキークラブ総会
6(土)	利根商峻嶺祭
7(日)	農業まつり(水上地区)
8(月)	議会広報研修会 年金制度創設に関する懇談
9(火)	アドベンチャースポーツの安全と 環境保全に関する調査研究事業実行委員会
10(水)	長野県栄村視察来町
13(土)	高山良二公演会
14(日)	農業まつり(新治地区) 防災訓練(町組)
11月	15(月) 広域議会・学校組合議会議員協議会 栃木県益子町議会視察来町
	16(火) 赤沢スキー場運営協議会
	17(水) 全国町村議長大会
	18(木) 老人クラブ連合会新治支部芸能発表大会
	21(日) 天神平スキー場安全祈願祭 利根沼田地区高等学校のあり方に関する公聴会
	23(火) 利根沼田青少年柔剣道大会
	24(水) 小口融資審査会 県総合計画策定利根沼田地域懇談会
	26(金) 第9回みなかみ町議会11月臨時会 議会運営委員会 全員協議会 土地開発公社理事会 環境・ホテルに関するポスター表彰式
	27(土) 風の音コンサート
	29(月) 広域圏議会定例会 学校組合議会 アドベンチャースポーツ(～12/4)

12月	4(土) 米食味コンクール報告会・祝賀会 日露協会利根沼田支部交流事業
	5(日) 矢瀬太鼓記念公演会
	6(月) ヤマキみなかみ工場竣工式
	7(火) ヤマキみなかみ工場見学会
	9(木) 第10回みなかみ町議会12月定例会(開会日)
	10(金) 議会全員協議会 総務教常任委員会(現地調査)

12月	13(月) 厚生常任委員会 産業観光常任委員会 JR東日本高崎支社との意見交換会
	16(木) 第10回みなかみ町議会12月定例会(閉会日) 小口融資審査会
	17(金) 大沢群馬県知事来町 農村公園公社忘年会
	18(土) 宝台樹スキー場安全祈願祭
	20(月) 総務文教常任委員会研修視察(新潟県柏崎市)
	21(火) 県・市町村議会議長懇談会 市町村議会臨時議長会 水上高原スキー場安全祈願祭
	22(水) 誘客促進実行委員会
	26(日) 故小寺前知事告別式

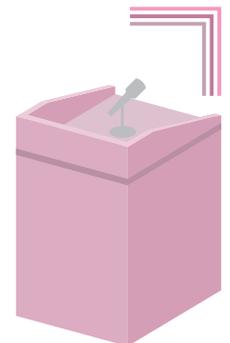
1月	5(水) 県議会新春交流会 上毛新聞賀詞交歓会
	7(金) 議会だより編集特別委員会 JA利根沼田新年祝賀会
	9(日) みなかみ町消防出初め式 みなかみ町成人式
	11(火) 群馬県市町村トップセミナー
	12(水) 広域圏定例議員協議会 郡議長会新年懇話会
	13(木) 国際学院国際交流会 都市計画審議会 望郷ライン県道昇格陳情
	14(金) 議会運営委員会 全員協議会 町ゲートポール協会定期総会 町新年賀詞交歓会
	16(日) 県内中学校スキー大会
	18(火) 第1回みなかみ町議会1月臨時会 議会だより編集特別委員会 小口融資審査会
	19(水) 町婦人会新年会
20(木) 町商工会女性部新年会	
21(金) エフエムOZE新春を祝う集い 議会だより編集特別委員会	
23(日) 中央防火協会教養研修会	
28(金) 町内小中学校スキー大会 町身障連新年会	
29(土) 町体育協会新年会	

議会だより編集委員会

- ◆委員長 鈴木 勲
- ◆副委員長 阿部 賢一
- ◆委員 小林 洋
内海 敏久
中島 信義
林 一彦

議会を傍聴してみませんか？

- ◆3月の定例会は、
2～10日を予定しております。
- お問い合わせは— 議会事務局まで
☎25 - 5023(直通)





魅力ある「みなかみ」を おいでちゃんと情報発信

水上温泉おかみの会
会長 鈴木明子 (湯原)



水上温泉おかみの会
(水上温泉旅館協同組合
婦人部) は、現在十三名
の会員で活動しています。

活動の主な目的は、「お
客さまに喜んでいただく
おもてなし」、「みなかみ
をPRすること」です。

週当番制で始めた水上
駅舎内の生け花は、今年
で早や十年目となりました。

また、月に一度、「お
茶会」を開き、ランチを
しながらのミーティング

「お茶会」での意見交換

のほか、町内の施設見学
やアクティビティ体験、
関係者との意見交換会な
どを行っています。

一昨年秋に開催した
「おかみと行くスイーツ
めぐりツアー」の際に作
成した、「スイーツめぐ
りマップ」は好評をいた
だき、現在も発行を継続
しています。ツアーの再
開も計画中です。

昨年の「おいでまつり」
踊りパレードでは、「お
いでちゃんチーム」を結

成し、観光客や町
内外の皆様と楽し
く交流しました。

また、昨年三月

に誕生した、ゆる
キャラ「水上温
泉おいでちゃん」
が、わたしたちの
強力な助っ人とし
て、SLのお出迎
えや各種イベント
に参加しています。

「追っかけ」して
くださるファンも
増え、駅前商店街

の皆さんをはじ
め町内の方々に
かわいがってい
ただいています。

「おいでちゃん
グッズ」を検討
中で、今後また
ます、「おいで
ちゃん」を活用
していきたいと
考えています。

昨年開催され

た「温泉通り音
楽散歩」や「駅
からハイキン
グ」、利根商生
の「おいでちゃ

んかき氷」開発などと連
携・コラボすることによ
り、活動の幅を広げるこ
とができたと感じていま
す。

今年度の七、九月は群馬
県でDC※が行われます。
これを大きなチャンスと
して、様々な人たちと協
力しながら、「魅力ある
みなかみ」を発信してい
きたいです。

※DC (デスティネーションキャ
ンペーン)
JRと地域 (地方公共団体や卓
民・企業等) が一体となって取り
組む大型観光キャンペーン。
平成二十三年は群馬県におい
て、七月一日～九月三十日の期間
実施される。



「マスケットおいでちゃん」
(「ぐんまちゃん」と並ぶ)



町内の甘味処を網羅した
「スイーツめぐりマップ」を発行



年も新しくなり、編集
委員一同すばらしい議会
だよりを編集しようと頑
張っています。

十月・十一月臨時会へ
も取り上げられましたが、
町ではアドベンチャー事
業の安全基準の条例制定
に向けて検討しています
ので、みなさまにもご協
力をお願いします。

これからもみなかみ町
が皆様の住み良い町にな
るように、慎重審議を重
ね頑張つてまいりますの
で、よろしくお願いま
す。

内海敏久

